

すべて眠りし女、  
今ぞ目覚めて動くなる

詩 意

新時代の女性が、意志強く、独立自営の気概を持って生き始  
めたことを宣言する喜びを歌う。

掲載歌集  
初出

『夏より秋へ』大正3（1914）年1月  
「青鞥」創刊号 明治44（1911）年9月  
「そぞろごと」の題で発表（晶子33歳）

- 所在地  
堺市立男女共同参画センター  
(コクリコさかい) 内  
(堺区宿院町東 4 丁 1 - 27)  
南海バス大寺南門山之口前  
下車南東徒歩 5 分
- 建 立  
平成 6 年 2 月 15 日  
堺市女性団体協議会
- デザイン  
石坂義男 (山梨県甲府市の  
彫刻家)
- 書  
山口彩子 (元堺市女性団体  
協議会委員長)
- 連絡先  
堺市立男女共同参画センター  
(コクリコさかい) 内  
072-223-9153



男女共同参画社会をめざし、女性解放運動や地球環境保護の活動を続ける堺市女性団体協議会が、創立45周年を記念して建立した。「晶子のヒューマニズムが広がってほしい」という思いで晶子像を2年がかりで制作。

除幕式は45周年記念大会の会場、堺市民会館(現・フェニーチェ堺)で行われた。晶子像はその後、堺市立男女共同参画センター玄関ロビーに設置されている。

※晶子立像(高さ1m65cm)の台座には、「すべて眠りし女、今ぞ目覚めて動くなる」の一節が刻まれている。

※大正13(1924)年10月、晶子が東京の築地小劇場で自作の詩を朗読した姿がモチーフになっている。